

～元気の出るエピソード～



よつば病院で働く前は一般病院のリハビリ病棟に勤務していて、病気、ケガ等によって動けなくなった身体を毎日つらいリハビリを続ける患者様を励まし回復していき退院していく姿を喜んで見送りました。

認知症専門病院のよつば病院に来てからは、認知症患者様のなかには暴言・暴力・不穏症状からの介護抵抗、ひっかかれたり指示が入らない、どうしたら良いか戸惑い悩んでいた時期もありましたが、一緒に歩いたりお話をしたり又はお仕事を頼んでみたり一人で出来たことを褒めてあげたり、そうすると嬉しそうにしてくれます。そんな中、ある患者様のご家族様から一通のお手紙をいただき、認知患者の人権をここまで尊重してくれる病院があるのでしょうか。これからますます高齢化社会になる中、当院のような素晴らしい病院が増えていくことを望んでおります。

よつば病院に入院している患者様は本当に幸せだなと感じました。とても嬉しく思い一人一人の患者様を大事に自信を持ってすすめられる病院づくりに頑張っていきます。

看護部 3F病棟 介護福祉士

「暴力・暴言」が主な認知症状の患者さんと関わる機会がありました。入院当初は、お礼の言葉を頂くことはなく、意にそぐわないと、強く介護拒否し手が出ることや「ハンガーСтраイキだ。」と言って食事を摂らないことがありました。そのため、主治医を始めとした全職員で試行錯誤して関わる毎日でした。そこで、患者さんの思いを知るため、他のリハビリスタッフと連携し、傾聴、歩行訓練、カッピングテーブルを提供し関わりを持ちました。

5月上旬に施設へ退院されましたが、職場が移動になった私に「お礼を言いたい。」と伝言を受け、退院日に何度も感謝の言葉を頂きました。無事に退院できたのは、この患者さんに関わった職員の試行錯誤の結果だと思えます。こういった経験を得て還元するためにも、日々学ばなければならないと実感した出会いとなりました。

QOL推進部 テイクア 作業療法士

診もり短歌



「 過えば忘れぬ老いのほほえみ
もの忘れ日々確実にすすめども
過えばほほえみ
忘れず返へす
Dr ねぎし」

Dr ねぎし

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります
患者様治療のために
・紹介状（診療情報提供書）
・お薬手帳の持参をお願いしています
ご協力をお願いいたします
予約時間の変更等につきましては、午前中診療のため、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日
土曜・日曜・祝日は休診になります

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります

よつば 通信

6月号

発行日 平成30年6月1日



図1



図2



図3



今後、医療と介護、地域が一体となつて認知症がある方、その家族の方
がその人らしく住み慣れた地域で生活できるように更なる努力を重ねて参
りたいと存じます。
また、今後益々関心が高まることと予測される認知症予防及び進行予
防について皆様情報や取り組みについて発信、共有していただけるよう専門
院として努力して参ります。
引き続き、お気軽にご相談いただけるような地域に根差し開かれた病院
として皆様と共に歩んで参ります。

QOL推進部部长 稲橋秀樹

～巻頭挨拶～

薄暑の候、平素は当院の運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼
申し上げます。
当院は認知症専門病院として地域の皆様が認知症でお困りの時に
安心して頼られる存在でいられますよう日々職員一同、創意工夫しな
がら患者様の治療、ケアに取り組んでおります。本号ではその一部
ではございますが、当院の今までの取り組みについてお伝えさせて
いただきます、皆様ご安心して当院をご利用いただけます一助になりま
したら幸いです。
厚生労働省の認知症施策である新オレンジプラン（平成27年1
月発表）に沿って、図でお示ししますような取り組みを実践してき
ております。

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木 or 安西	休診
	根岸					
一般 内科						
午後(新患のみ)	休診	鈴木	休診	安西	休診	休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	午後
8:45~11:30		9:00~12:00		14:00~17:00

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
テイクアわかば

蓮田市
認知症カフェ
はすかフェ
電話:048-765-7777 (蓮田よつば病院)

よつばの美味しいご飯



献立

- ・主食：筍ご飯
- ・主菜：カツオフライ
- ・副菜：里芋の木の芽和え
- ・副菜：青菜のわさび和え
- ・汁：味噌汁

エネルギー：577kcal
たん白質：20.1g
脂質：15.4g
塩分：4.5g
※行事食の栄養価は若干高めになっております
※写真は職員食です

5月のこどもの日の行事食は、嗅覚に刺激が与えられるよう、筍や木の芽といった香り高い旬の食材を使った献立に仕上げています。認知症の患者様は匂いを感じる機能が弱くなると言われておりますので、香り高い食材を使用して嗅覚への刺激を促し、その刺激が認知症の治療に繋がればと考えています。また、食事の匂いを感じるということは時間を感じる事にもなり、そして食欲を増幅する事にもなり、様々な刺激へと発展していくと考えます。

管理栄養士 水野俊



よつば病院情報



～よつば訪問看護リハビリステーションの一日～

- 8:50 朝礼
夜間対応利用者様の報告、訪問件数や担当者会議出席の有無等共有
- 9:00 訪問準備や利用者様やケアマネなどへの電話連絡をし、社用車で訪問へ
- 9:30 利用者様宅に訪問



- 12:00 昼食 嚥下の状態確認のため食事介助することもあるので休憩時間は人それぞれ
- 13:00 利用者様宅に訪問

Aさん

浣腸、摘便、陰部洗浄、清拭、着替え、足浴、介護相談

Bさん

内服カレンダーセット、療養相談、筋力アップ体操

利用者様によって内容は違いますが、一人の訪問につき30～60分くらいの時間を使って関わります。
利用者様から「うちの看護師さんに相談してみよう」とか「あなたが来てくれると安心するの」とか「あなたが来てくれるようになってから、元気になった」などの言葉を聞くとやって良かったなと思います。

- 17:30 帰社 本日の記録作成、医師やケアマネへの電話連絡、明日の訪問準備
- 17:50 終礼

訪問看護師はやっている内容は病棟看護師とあまり変わりません。ただし大きく違うところがあります。訪問看護師は対象者が利用者様だけでなく家族も対象者である。療養の場は自宅であって個々の生活にあった看護をする必要があるという事。よつば訪問看護では利用者様の意思を尊重し良き相談相手であって良き理解者でありたいと思っています。

よつば訪問看護リハビリステーション
所長 藤代 真弓

蓮田よつば病院の 認知症ケア専門士

平成30年度 第3回「BPSD(行動心理症状)の対応～笑顔で挨拶から始める介護～」

認知症には、大きく分けて4つの種類があります。アルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型、脳血管性です。これらの認知症には、代表的な症状があり、それを、中核症状と行動心理症状(BPSD)に分けることができます。介護の現場においては、この行動心理症状が改善され、穏やかに生活できるよう援助することが目的となります。

行動心理症状の中でも介護拒否・抵抗は、介助者の頭を悩ませる症状の一つです。では、どのように関われば良いのでしょうか。

まずは、抵抗する側の心理状態について考えてみます。認知症の方々は、直近のことを記憶し保つことが得意ではありません。話しかけた時、少し前に会ったことのある人間であっても、認知症の方にとっては、初めて会う人だと思っているのかもしれませんが。初めて会う人間に、『トイレに行きましょう』『お風呂に行きましょう』など声をかけられた時、その誘いに応じるでしょうか…。断られるのは当たり前です。では、どうすれば拒否や抵抗なく認知症の方に関わる事ができるのか。

認知症の方々の対応をする際、介護側は、例え何度も関わったことのある方でも相手は初対面だと思っているかもしれないと意識する必要があります。初めて会う人との第一印象は3秒から5秒で決まり、相手に好印象を持ってもらう為には、目で見える情報(表情・髪型・服装・態度・姿勢)、耳から聞こえる情報(声の大きさやトーン・肯定的な言葉の選択)が大切であり、言葉の内容だけで好印象を与えることは難しいと心理学の研究で述べられています。この第一印象を良いものにすることが、介護拒否・抵抗を引き起こさず関わる第一歩なのです。好印象を持ってもらえるこの3つの要素を兼ね備えた行動…それは、『笑顔で挨拶』です。笑顔で挨拶をするだけで、抵抗や拒否のある方への関りがうまく進むケースは多いのです。

私自身が現場で抵抗や拒否がある方に関わる際にはこのような行動を意識しています。相手と同じかそれよりも少し低い姿勢を意識し目線を合わせます。認知症の方は、視野が狭くなっているケースが多いので、しっかりと目線をとらえる必要があります。目線をとらえたら、間を開けず、笑顔で挨拶を『おはようございます』。次に、要件を相手に伝え同意を得ます。ここで重要なのは、同意を得ることです。同意を得ずして手を引いたり、脇を抱えたりすることは拒否や抵抗につながります。同意が得られない場合は、会話を換え、その場を離れ、時間をおいてから再び関りを持ちます。さらに、会話の時には、言葉の選択を意識します。風呂への誘導に抵抗や拒否ある方の場合は、あえて、『風呂』という言葉は使用せず『着替え』という言葉を選択します。

『笑顔で挨拶』は、上で述べた通り、心理学の研究(メラビアンの方則)に基づいた言語情報、視覚情報、聴覚情報を意識的に利用し第一印象を良いものにすためのテクニックです。さらに、目線を捉える、本人の同意を得るという部分は、ケア技法であるユマニチュードに基づいています。誰でも簡単に相手に良い印象を与えることができるのですから利用しない手はありません。

今回取り上げた介護抵抗や拒否に限らず、行動心理症状は、相手との関わり次第で改善する場合も多く、上手に関わることができれば、介護する側、介護される側ともに負担が激減します。行動心理症状に頭を悩ませることは介護に携わっている以上避けては通れません。それならば、お互いがいつも笑顔で穏やかにいられるよう簡単に意識することができる『笑顔であいさつ』から始まる介護を実践してみたいはかがでしょうか。

島山 英記(認知症ケア専門士/介護福祉士)

患者さま作品・活動 写真集



デイケア院外レク



ホラティイさんによる演奏

今月の予定

今年度のはすカフェは毎月第1土曜日蓮田よつば病院にて開催致します。

- 誕生会 各病棟
3階 随時おこないます
2階 随時おこないます
- 理美容 各病棟
第1・4木曜日
- 調理クラブ
第3または第4月曜日
- お化粧教室 4階フロア
第2木曜日
10:30～11:20